

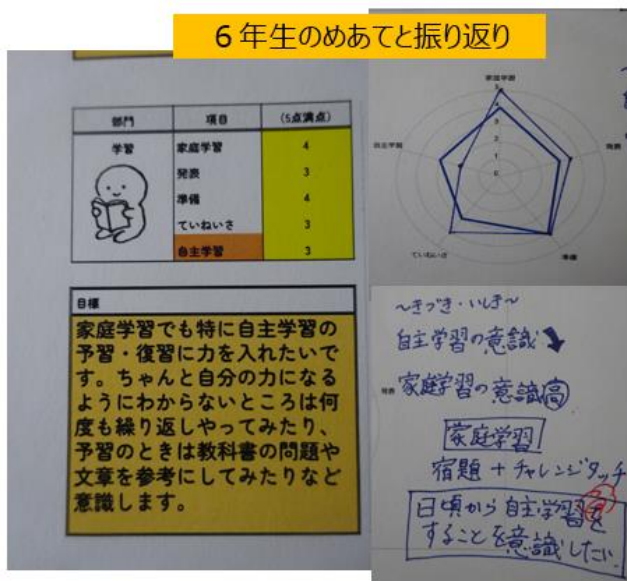
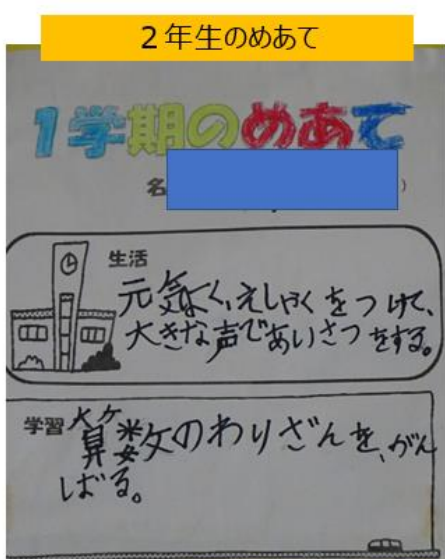


# 学校だより



## 5月がスタートしました。

新学期が始まり1ヵ月が過ぎました。教室に貼り出されている1学期のめあてを見てみると、2年生は目標のみのめあてですが、6年生は4月に立てためあてを5月に振り返り、更にはどうするかを分析しています。子どもの成長の大きさに驚かされます。6年間で、子どもの知・徳・体を伸びやかに育てられるように、家庭や地域と学校がしっかり連携しながら、学校経営を進めていきたいと思ひます。今月号では、PTA総会でもご報告した、本校の令和6年度の重点取組についてご報告します。



## 【学校教育目標と今年度の重点取組について】

○本校のビジョン (将来像・目指す姿)

～これからの時代に必要な生きる力を育てる～

- ・自己肯定感が高い
- ・人と関わる力がある
- ・考えて行動できる
- ・自ら考え、発信できる
- ・アイデアを形にできる

- ・情報を早く正確に得ることができる
- ・必要な情報を選べる
- ・物事の仕組みを知っている

## ○令和6年度重点取組

令和5年度の知・徳・体・地域愛/社会性の取組に、確かな手応えを感じた。  
令和6年度は、令和5年度の重点取組を更に発展させる。

知

■ 研究・実践を通じて、授業改善をはかっていく

研究テーマ「主体的に学び、課題を解決する児童の育成」

～ 学びを委ねる授業の実践を通して ～

徳

児童の自己肯定感のアップ & 「聞き合い学び合う」  
学級づくりに向け、『ほめ言葉のシャワー』を本格実践  
(5・6年：1学期～、 3・4年：2学期～)

体

・体育科の指導を工夫するとともに、業間運動の充実を図る  
・中学校区で統一した、基本的な生活習慣の定着  
(家庭との連携)

地域愛  
社会性

■ 体験農園活動（水辺の楽校）、わくわく花畑整備など、  
地域の方との交流を通じて、地域愛を醸成

■ 課題解決型学習の実践を通じて、課題を『ジブンゴト』  
として捉え、解決策を『アウトプット』する力を養う

## ○学校運営の基盤作り

### 1 教職員の自己能力の向上と機動的な組織作りの推進

- ① 自己能力の向上を目指した目標管理により、指導力・実践力の向上を図る。
- ② 特別支援教育・ICT機器の活用・授業のファシリテーション力等の研究や研修を重ね、教職員の資質・能力の向上を図る。
- ③ 互いのよさを認め、学び合い、協力し合う教職員集団を作る。  
(授業・生徒指導・校務分掌等)
- ④ 子どもの変容を共感しあい、組織で動く教職員集団 = チーム鴨方西小を作る。

### 2 地域連携・小中連携・保こ幼小連携

- ① 学校・PTA・地域が一体となったコミュニティスクール活動の推進
- ② 家庭・地域への情報発信と意向受信（懇談会、保護者アンケート、学校HP等）
- ③ 小中の9年間を見通した教育の推進
- ④ 関係する園（保こ幼）との情報交換・交流